

令和4年度 事業計画書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

当財団は、総合的な福祉事業を通して中小企業の振興発展に寄与するという財団設立の目的に沿って、中小企業で働く方々の充実感と安心感のある生活を側面から支えられるよう事業運営に努めてきた。

昨今のコロナ禍による社会・経済活動への影響が長期化する中、様々な変化に柔軟に対応しつつ、令和4年度も引き続き公益認定基準に適合した退職金共済事業の運営を行うとともに、福利共済事業の充実を図る。

また、運営基盤となる会員数の拡大を目指し、新規事業所の加入促進と会員企業の満足度向上に引き続き取り組んでいく。

1 会員数、会員企業数の見込み

令和3年度は、長期化するコロナ禍が多くの中企業の経営に深刻な影響を及ぼした。このような状況下で加入会員数は、新規大口加入があったことなどにより、9期連続で1万人の大台を確保できる見通しで、当初計画を上回る見込みとなった。

一方、退会会員数は、公的支援が奏功したことや業種によってコロナ禍の影響度合いにばらつきがあったことなどから、前年度を下回る見込みとなった。これにより期末会員数は、当初計画の86,700人を1,300人上回る88,000人と10期連続の純増となる見込みとなり、期末会員企業数は前年並みの8,800社となる見込みとなった。

令和4年度は、コロナ禍の収束が見えない中、引き続き厳しい経営環境が続くことが想定されるが、期末会員数は前年度より1,200人増の89,200人と11期連続の会員数純増を目指し、期末企業数は維持を図る。

【会員数の推移】

(単位：人)

年 度	期首	加入	退会	期末	対前年増減
令和元年度	83,663	12,177	10,260	85,580	1,917
令和2年度	85,580	10,930	9,975	86,535	955
令和3年度(見込)	86,535	11,066	9,601	88,000	1,465
令和4年度(計画)	88,000	11,000	9,800	89,200	1,200

【会員企業数の推移】

(単位：社)

年 度	期首	加入	退会	期末	対前年増減
令和元年度	8,860	331	363	8,828	△32
令和2年度	8,828	275	309	8,794	△34
令和3年度(見込)	8,794	267	261	8,800	6
令和4年度(計画)	8,800	271	271	8,800	0

2 特定退職金共済事業

中小企業勤労者の退職後の生活基盤安定のため、所得税法施行令第73条に基づく「特定退職金共済団体」として、公益目的事業である特定退職金共済事業を実施する。

令和3年度は、委託生命保険会社のうち1社が予定利率を引き下げたが、給付水準は維持した。また、会員には配当の加算給付を実施した。

令和4年度も超低金利が続くことが予想されるが、引き続き、委託生命保険会社の運用方針や資産運用状況を注視し、給付水準の維持と積立金の安全・堅実な運用に努める。

3 事業主年金等共済事業

法人の代表者と役員、および個人事業主等のための独自の退職金共済制度として、事業主年金等共済事業を実施する。

令和3年度は、予定利回りを維持し、会員の積立金へ配当の加算を実施した。

令和4年度も超低金利が続くことが予想されるが、引き続き、委託生命保険会社の運用方針や資産運用状況を注視し、給付水準の維持と積立金の安全・堅実な運用に努める。

4 福利共済事業

令和4年度についても「with コロナ」を前提として、感染対策を徹底した事業運営に取り組むと共に、感染状況に左右されずに開催できるオンライン型の事業を引き続き推進していく。

また、令和2年度から導入したローチケbiz+（ロチケbizプラス）についても、さらなる利用促進を図るため、ローソンチケットで購入する際に一定額を補助する「ローソンチケット利用補助券」を今年度も発行する。

その他、様々な手法で利用促進を図ることにより、延べ利用者数については前年度より37,075人増の276,122人と見込んだ。

なお、福利共済事業の実施財源には、当該年度の福利会費合計額約634,221千円のうち、約94%にあたる約596,168千円を見込んだ。

【延べ利用者数】

(単位：人)

令和4年度 (予算見込)	令和3年度 (決算見込)	増 減
276,122	239,047	37,075

(1) 余暇活動支援事業

会員が家族と充実した余暇を過ごすことにより、心身のリフレッシュを図り心豊かな生活を送れるよう、次に掲げる事業を実施する。

また、オンライン型の新事業として「e-sports Cup」を開催する。さらに、新たな助成事業として「じゃらんコーポレートサービス」の利用者に対し一定額を電子マネー等で還元する事業を開始する。

区 分	事 業 名	令和4年度 参加見込数
自主事業	【演芸会、コンサート等】	
	年忘れ演芸会	2,000人
	ニューイヤークラシックコンサート	2,000人
	映画鑑賞全力さぼーと	2,000人
	【レクリエーション】	
	親子レクリエーション	80人
	レクバス（ルツ、グリーンランド、デイズニランド利用券含む）	6,225人
	写真教室	30人
e-sports Cup	30人	
おうち時間全力さぼーと（グッズプレゼント企画）	1,500人	
	小 計	13,865人
助成事業	【旅行、施設利用等】	
	JTBベネフィット委託事業 （国内旅行、海外旅行、宿泊施設）	1,000人
	じゃらんコーポレートサービス（宿泊助成）	1,000人
	円山動物園他道内72カ所のレク、娯楽施設入園	121,635人
	スポーツ観戦（コンサドーレ、ファイトーズ、バンガ）	2,009人
	映画館入場（ロチケbiz+以外）	1,500人
	観劇、音楽会、美術展入場	2,500人
	音楽定期会員等	30人
	ローチケbiz+	20,000人
	※約90%が映画鑑賞券等の購入利用と想定	
	小 計	149,674人

(2) 健康維持管理増進支援事業

予防のための健康診断をはじめ、健康維持・増進のための各種事業、施設の利用を促進する事業を実施する。

ア 健康管理

一般より低廉な費用で健康診断を受けられるよう、市内 27 カ所の医療機関と助成契約を締結し、健診料の一部を会員に助成するほか、人間ドック健診では、会員料金のほかに割安の家族料金を設ける。さらに、新たな検診メニューとして少量採血による複数部位のがんリスク検査が可能な「メタロバランス」を導入するほか、インフルエンザ予防接種助成では医療機関の指定を廃止し、どの医療機関でも接種可能とする。さらに、接種後に領収書等を添えて申請することで助成額を還元する方式に改め、会員の利便性向上を図る。

区分	事業名	令和4年度 参加見込数
助成事業	定期健康診断	13,000人
	人間ドック(1泊2日、日帰り、パブリック)	1,843人
	部位ドック(心臓、脳、大動脈・血管)	10,693人
	がん検診(大腸、肺、乳、子宮、PET、メタロバランス)	
	インフルエンザ予防接種、健康度測定健診	1,000人
家庭用常備薬あっせん送付無料		
	小計	26,536人

イ 健康増進

自主事業のうち、各種スポーツ教室(こどもかけっこ教室、こどもバスケットボール教室等)については、コロナ禍の影響を考慮し、今年度も開催を中止とした。

また、一部のスポーツ大会については集合型の大会形態では行わず、会員各自の利用を促進するような施策を企画する。

今後も、コロナ禍でも実施が可能となるような開催形態を模索しつつ、会員と家族の健康づくりを積極的に支援していく。

その他、助成事業として、一般より低廉な料金で市内外のスポーツ施設や健康施設が利用できるよう、料金の一部を助成する。

区分	事業名	令和4年度 参加見込数
自主事業	【スポーツ大会】	
	パークゴルフスタンプラリー(大会は中止)	200人
	ゴルフ大会	100人
	ボウリングキャラバン(大会は中止)	150人
	小計	450人
助成事業	スキーリフト・スキーランチパック	22,800人
	スケートリンク入場	174人
	スキースクール	51人
	スポーツクラブ利用	17,835人
	プール利用	2,511人
	市営体育館等利用	11,439人
	ボウリング場利用	3,403人
	ゴルフ場利用	164人
	パークゴルフ場利用	3,721人
	スポーツ奨励等	—
	小計	62,098人

(3) 自己啓発及び研修・表彰支援事業

企業や団体の発展に貢献した事業主および従業員に対し、その功績を称え記念品を贈呈し、勤労意欲の向上と企業の発展を支援する。また、会員と家族の自己啓発・研鑽のためのセミナーや講座等の受講料を一部助成する。

なお、今年度からは、オンライン学習講座 Schoo (スクー) を利用した集合学習メニューの充実を図り、昨年度まで実施していたオンラインセミナーの代替として活用することを計画している。

区分	事業名	令和4年度 参加見込数
自主事業	勤続(経営従事)功労者記念品贈呈(30年、40年)	450人
助成事業	経営等セミナー	100人
	生涯学習講座	236人
	オンライン学習講座 (Schoo)	660人
	小計	996人

(4) 生活安定支援事業

ア 融資あっせん事業

令和2年度から新規受付を中止しており、既存融資済案件が全て完済された時点で当該事業を廃止する予定である(令和6年度を予定)。

イ 割引指定店事業

令和4年度も引き続き「えらべる倶楽部ライフ」を提供し、会員証提示等により全国約62,000件以上のメニュー(ショッピング、レジャー、日帰り温泉など)で様々な特典を受けられるサービスを提供していく。

(5) 慶弔金贈呈事業

会員と家族の慶弔に際し、次の10項目の慶弔金贈呈事業を実施する。また、一部の項目(以下※印)について支給要件の見直しを行う。

項目	金額(1件)	令和4年度 贈呈見込数
①二十歳祝金※	5,000円	150件
②結婚祝金※	加入年数3年未満 加入 20,000円	660件
	年数3年以上 30,000円	670件
③出産祝金※	20,000円	1,760件
④入学祝金	10,000円	4,370件
⑤永年勤続慰労金	勤続5年 勤 5,000円	3,490件
	続10年 10,000円	2,060件
	勤続15年 15,000円	1,670件
	勤続20年 20,000円	1,220件
⑥還暦祝金	10,000円	1,440件
⑦銀婚・金婚祝金	銀婚 20,000円	660件
	金婚 30,000円	90件
⑧傷病見舞金※	20,000円	920件
⑨災害見舞金※	10,000円	15件
	損害程度に応じ3段階 30,000円	5件
	50,000円	3件
⑩死亡弔慰金※	会員 50,000円	110件
	会員の配偶者・子(養子を含む) 30,000円	100件
	会員の親(養親を含む) 20,000円	1,700件
	会員の配偶者の親(養親を含む)・ 10,000円	960件
	会員の子の死産	
	合計	22,053件

(6) 加入促進活動及び情報提供事業

スケールメリットを生かした充実の福利共済制度と、安全・堅実な退職金制度についてのPRを多様な媒体により継続的に行い、未加入の中小企業への加入促進活動を展開する。さらに、既存会員等に対し未加入企業の紹介を広く依頼し、会員数の維持拡大を図る。

項目	内容
加入促進活動	① フォロー活動に重点をおいたダイレクトメール送付 ② 既加入企業からの未加入企業紹介依頼 ③ 税理士、社労士の関与先企業の紹介依頼 ④ 金融機関とのビジネスマッチング ⑤ 認知拡大を目指したインターネット広告 ⑥ 経営者向けにオンライン講座視聴機会の提供
情報提供事業	① SNS (LINE、Twitter)、メールマガジンを活用した情報配信 ② 制度説明、加入申込書類の動画配信 ③ 制度パンフレット、制度ちらしの配布 ④ 会報誌「さぼさぼ」(年5回)、ガイドブック「さぼガイド」の発行(年1回) ⑤ ホームページによる情報提供

5 その他

【基幹系システムの開発について】

会員情報の管理や利用券の発行等に使用している基幹系システムについて、導入から約40年が経過していることから、会員サービス向上および業務効率化を図るべく、令和7年度の稼働を目指して刷新を検討している。令和3年度は現行業務の調査と今後の計画策定を実施した。令和4年度は、開発着手に向けて新システムの仕様を検討、策定していく。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・計画策定 (R4.3.31 終了)	仕様検討・策定	業者選定・システム開発		システム稼働

6 参考(当財団の事業体系)

区分	事業名
公益目的事業	特定退職金共済事業
その他の事業 (相互扶助等事業)	事業主年金等共済事業
	福利共済事業 (1) 余暇活動支援事業 (2) 健康維持管理増進支援事業 (3) 自己啓発及び研修・表彰支援事業 (4) 生活安定支援事業 (5) 慶弔金贈呈事業 (6) 加入促進活動及び情報提供事業

